

別紙様式3

平成28年度 第1回 魅力ある高校づくり推進事業協議会 議事要旨

日 時	平成28年 5月30日(月) 10:00~11:40
場 所	八百津高校 会議室
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>浅野 知子 八百津高校を育てる会(八百津東部中学校校長)</p> <p>伊藤 忍 八百津高校学校評議員</p> <p>各務 博紀 八百津高校学校評議員(八百津町商工会前青年部長)</p> <p>加藤 大博 岐阜県議会議員</p> <p>金子 政則 八百津高校を育てる会(八百津町町長)</p> <p>神谷 一久 八百津高校学校評議員(神谷技研社長)</p> <p>榎間 誠 八百津高校を育てる会(八百津中学校校長)</p> <p>佐合 重光 八百津町商工会長</p> <p>鈴木 彰 八百津高校PTA会長</p> <p>林 善次 八百津高校を育てる会(八百津高校同窓会長)</p> <p>早野 稔 八百津町立錦津小学校長</p> <p>洞地 里美 八百津高校学校評議員(錦津保育園園長)</p> <p>堀部 義郎 八百津高校を育てる会(八百津町教育長)</p> <p>和田 義昭 八百津高校学校評議員(錦津コミュニティセンター長)</p> <p>(高校側)</p> <p>高木 久美 校長</p> <p>工藤 敏郎 教頭</p> <p>兼松 義治 教務主任</p> <p>三宅 克典 事務長</p> <p>志比 顕秀 進路指導主事</p> <p>服部 幹和 生徒指導主事</p> <p>鈴木 真 特別活動部長</p>
議事概要	<p>1 高校の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> 八百津高校の就職実績は大変すばらしい。トヨタ自動車株式会社には、毎年複数名が就職している。八百津町役場にも2名が就職している。このことは、中学生やその保護者にとって大きな魅力である。 八百津高校の3年間を通して、自分が変わることができたと書いていた卒業生の作文を読んで感動した。まさにキャッチフレーズ通り、「一人一人が大切にされ、自分が変わる高校」だと思う。 昨年度の八百津町産業文化祭では、いろいろな場面で八百津高校の生徒の活躍を間近に見せてもらった。中でもゴミブースでの献身的な働きには、本当によくやってくれと心底感心した。

2 デュアルシステムについて

- ・ 高校生の中に社会でのルールや企業の様子を体験できるデュアルシステムは、大変貴重な取組である。協力企業にとっても、新入社員教育のノウハウの確立のために役立っている。
- ・ デュアルシステムは、現在の協力企業は八百津町内に限られているが、八百津高校が可茂地区の高校であることを考えると、将来的には可児加茂管内に拡大していくべきではないか。

3 高校の活性化策について

- ・ 八百津高校生と小学生や保育園児との交流は、実際に見ていただくと感動を与えるものである。交流の取組を中心に、多くの人たちに学校を訪れてもらえるような機会を設定するとよい。
- ・ 土曜学習会のリトルティーチャー（小学生の学習会での補助を八百津高校生が担当）の取組を長期休業に拡大するとよいのではないか。地元の退職教員が高校生を指導し、高校生が小学生を教える場面を、広く小中学生の保護者に見てもらいたい。
- ・ 八百津高校を卒業した八百津町の職員が、町の「地域連携でまちづくりを提案」事業で活躍してくれている。八百津高校生の活躍を期待している。
- ・ 夏にアメリカへ八百津町内中学生が短期留学する予定である。八百津高校からも応募してほしい。
- ・ 八百津町の行事で活躍できるような部活動を、八百津高校で育成するとよいと思う。

4 積極的な情報発信について

- ・ 八百津町内中学校から八百津高校への入学率を上げるために、小中学生の保護者に八百津高校の魅力を伝えるための方策が重要だ。
- ・ 八百津高校の取組を新聞に掲載してもらうことが一番の広報になるのではないか。
- ・ 町の広報に八百津高校欄を設けていただくとよいのではないか。
- ・ 中学生がイメージを膨らませるような工夫を凝らして、デュアルシステムの魅力を大いに発信するべきである。また、高校生の進路先情報は、中学生の保護者にとって大きな関心事である。
- ・ 八百津高校に在籍している生徒が中学校の後輩に八百津高校の魅力を直接PRすることが、効果的な広報になると思う。八百津高校の活躍や八百津高校生の意見を取材するようなドキュメンタリー映画を、八百津高校生の手で制作し、上映会を開催するようなことを考えるのも面白いのではないか。